

菲菲の本当の名前は、高甜菲といいます。初めて 菲菲の写真を撮ったのは1997年の、夏真っ盛りのあ る日でした。その日、私は南塬村に来て、村のあち こちを歩いていますと、男の子たちが道端でなにか 騒いで遊んでいました。写真撮影に見知らぬ人が来 たと見るや、ひとかたまりになって近づいて来るの をじっと見ています。その中の男の子が一人、素っ 裸で恥ずかしがる風でもなく先頭に立っており、少

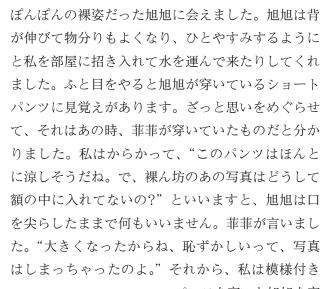
し大きな女の子が追いかけてきて、彼にズボンを 穿かせようとするのですがどうしても穿きません。

四年後の初夏、このと きの写真を懐に再び南 塬村にやってきました。 すっぽんぽんだったこの 男の子には出会えません

でしたが、海南の風景をプリントした印象的なショートパンツ姿のお姉さんには会えました。この姉と弟はそれぞれ菲菲と旭旭といい、菲菲はそのとき中学校の三年生で、高校へ進学準備を始めていました。そんなわけでとても勉強家で、夏の間中ずうっと窑洞にこもって勉強しており、旭旭の方は、父親に代わって羊の放牧に行ってしまっていました。

何日かして、前回撮影した、菲菲の勉強中の写真を持って南塬村に行き、菲菲の家を訪ねました。菲菲はビックリした様子でしたが、自分が勉強している写真をしげしげと見、満足して、私が渡したアンケートに楽しそうに記入してくれました。けれども、彼女の未来の理想は、"何か自分の理想とする仕事をする"としかありません。あまりに漠然としています。彼女の理想の仕事って、いったいどんなことをするっていうのでしょう。

この年の秋、再び南塬村に行き、遂に、四年前、すっ



パンツを穿いた旭旭を家の協に、私が幼い頃の「人はが幼い頃の「人は新品で、番目である。といる。といるがある。といるである。というである。というではない。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。



その後、県市(*)で菲菲を見かけ、彼女が"未来の理想の仕事"のために一生懸命勉強していると知りました。学校が休みの日に南塬村に行けば、山の谷で草を食む凡そ50頭ばかりの羊の番をしている旭旭を見ることができました。私は時には旭旭に同道し、彼が羊を追って私のほうに向って来る写真を写したりしましたが、なかなかいい写真になりました。*県の役所がある町

2003年4月末、私は陝北の仕事が終わり元の仕事に戻るので、陝北を去る前に、写真撮影をするというより別れを言いたいと南塬村にやってきました。ここの子どもたちは皆私とはいい友達になってましたが、菲菲はよその地域の学校に転校したとの事で見えませんでした。私は言葉を選び、心を込めて旭旭に"しっかり勉強してね、来年又会おうね"と言い聞かせますと、彼はいつもに似ずのお悧巧さんで、黙ってずうっと村の外れまで私を見送ってくれました。

2004年7月2日 さりている では、これに、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これが、いいのでは、は、は、これが、いいのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、いいのでは、は、は、いいので



旭旭が可愛がっている子羊と一緒の菲菲

られ、窓の障子紙は風に吹かれて破れ、荒れて淋しい感じです。旭旭のお祖母さんの家に行きますと、 "昨年末に一家で北京に行ってしまった"とのことです。大人は労働者として働き、旭旭は労働者の子どもたちのための学校に入って勉強し、菲菲は勉強を続けているのでしょうか、それとも、もう「理想の仕事に就く」という希望を実現したのでしょうか、 知る由もありません。老人は"今年のお正月は、 電話が掛かってきただけで誰も戻ってこなかっ た。"とつぶやきました。



窑洞で読書する菲菲

"北京の何処な の?住所と電話番号 は分かりますか?" 重ねて訊ねると、"住 所は知らないよ。それにみんな何して れにみんな何して るかも!"老人は元 気なく答えました。

貧しくとも、黄土 の大地が子どもたち の教育費を生み出 し、子どもたちの

未来に希望を与えてくれるなら、先祖代々引き継いできた土地を放り出し、故郷に背を向けて、誰一人知る人もなく不案内な都市で生活しようとするでしょうか?生きとし生けるものが住むという、茫々と果てしない人の海のようなあの北京の街で、私は何処に行けばこの姉と弟、二

